

オオサンショウウオの暮らす清流を守ろう！ 自然体験のフィールドづくりからはじめる水と 緑の回廊の再生

活動地域  岡山県真庭市



下和川「長とろ」での体験型環境学習会

課題

オオサンショウウオの個体群が豪雨のたびに流され、元の生息域に戻れないことに加え、以前の生息域も河川工事などによって環境が改変されており、生息個体数の減少が進行。

目標

豪雨により流されたオオサンショウウオの個体群の保護を図るとともに、生息地となる清流環境の保全と再生を進めることで、オオサンショウウオの持続的保護を目指す。



今後の
展望

田羽根川・下和川水系について、ハンザキサンクチュアリとして集中的に保護対策を講じるとともに、生息地での環境学習会を多く開催し、賛同者・協力者を増やしながらか、「オオサンショウウオの暮らす川づくり」を進める。

ひろげる助成

2年目

実践

活動内容と成果

豪雨のたびにオオサンショウウオの個体群が流され、生息個体数の減少が著しい岡山県北部の生息地において、「オオサンショウウオの暮らす川づくり」を進めるための調査・検討を行った。また代表的な生息河川である田羽根川についてハンザキサンクチュアリ（オオサンショウウオ保護管理河川）として保護対策を行うとともに、新型コロナウイルスの影響下においても、美しい清流の環境づくりを進めている下和川「長とろ」を活動拠点に、県内広くから多くの親子が参加する体験型環境学習会を開催し、オオサンショウウオ生息地再生活動の輪を広げることができた。



観察会で捕獲された全長110cm超の個体

啓発活動の調査会・
観察会の開催 **28回**

活動の拠点となる
フィールドづくり **4か所**

今年度計画の達成度 **75%**

目標達成度 **60%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

新型コロナウイルスの影響下ゆえに、下和川「長とろ」での野外環境学習会への参加希望者が県内に急拡大し、その受入対応に時間を費やした。

■ 工夫した点

運営体制を強化し、自然体験学習会の実施日を増やすとともに、フィールドを拡大させ、時間差でのプログラム進行を行った。

〒689-2352
鳥取県東伯郡琴浦町浦安250-10
電話：0858-53-1237
E-mail：eac-gren@po.harenet.
ne.jp
HP：http://fine-country.com/
harenokuniyaseiseibutsu.htm

